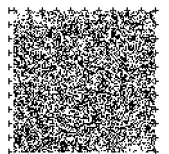


# 豊島区障害者等実態・意向調査 報告書

令和2年3月

豊島区



Uni-voice(音声コード)について

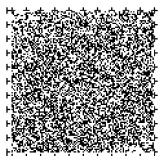
各ページの角の位置に印刷された四角い模様は、Uni-voice(音声コード)です。

主に視覚障害のかたが専用の読み取り装置またはスマートフォンのアプリで、

音声で内容を聞くことができます。

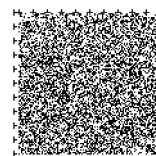
Uni-voice(音声コード)の印刷された位置を分かりやすくするため、

印刷位置の隣に切り欠きを入れてあります。

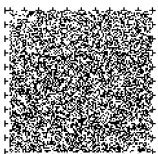


## 目次

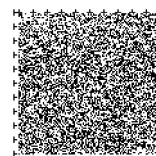
I	調査の概要	3
1	調査の目的	3
2	調査の設計	3
	(1) 調査対象	3
	(2) 抽出方法	3
	(3) 調査方法及び調査期間	4
3	回収結果	4
4	この報告書のみかた	5
II	調査結果のまとめ（共通設問項目）	9
1	病気や医療について	9
2	福祉に関する相談や情報	11
3	就労状況	14
4	外出の状況	16
5	防災の意識・対策について	20
6	社会参加等	23
7	障害者の権利	28
8	豊島区の今後のありかたについて	32
III	身体障害者調査	35
1	身体障害者調査の結果のまとめ	35
	(1) 回答者の属性	35
	(2) 福祉に関する情報や相談	35
	(3) 介助の必要性	35
	(4) 就労の状況	35
	(5) サービスの利用や今後の利用	36
	(6) 意思疎通の状況	36
	(7) 視覚障害者向けサービスの利用状況	36
	(8) 聴覚障害者向けサービスの利用状況	36
	(9) 高次脳機能障害について	37
	(10) 外出の状況	37
	(11) 防災の意識・対策	37
	(12) 社会参加等	37
	(13) 障害者の権利	38
	(14) 豊島区の今後のありかたについて	38
2	回答者の属性	39



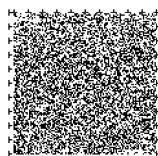
3	福祉に関する情報や相談 .....	50
4	介助について .....	53
5	就労の状況 .....	55
6	サービスの利用や今後の利用 .....	59
7	意思疎通の状況 .....	61
8	視覚障害者向けサービスの利用状況 .....	62
9	聴覚障害者向けサービスの利用状況 .....	65
10	高次脳機能障害について .....	68
11	外出の状況 .....	70
12	防災の意識・対策 .....	76
13	社会参加等 .....	79
14	障害者の権利 .....	84
15	豊島区の今後のありかたについて .....	90
<b>IV</b>	<b>知的障害者調査 .....</b>	<b>93</b>
1	知的障害者調査の結果のまとめ .....	93
(1)	回答者の属性 .....	93
(2)	福祉に関する情報や相談 .....	93
(3)	介助について .....	93
(4)	就労の状況 .....	93
(5)	サービスの利用や今後の利用 .....	94
(6)	社会参加等 .....	94
(7)	意思疎通の状況 .....	94
(8)	障害者の権利 .....	95
(9)	外出の状況 .....	95
(10)	防災の意識・対策 .....	95
(11)	豊島区の今後のありかたについて .....	96
2	回答者の属性 .....	97
3	福祉に関する情報や相談 .....	106
4	介助について .....	109
5	就労の状況 .....	111
6	サービスの利用や今後の利用 .....	115
7	社会参加等 .....	117
8	意思疎通の状況 .....	122
9	障害者の権利 .....	122
10	外出の状況 .....	128
11	防災の意識・対策 .....	133
12	豊島区の今後のありかたについて .....	136



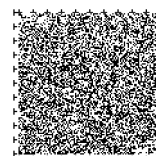
V	精神障害者調査	139
1	精神障害者調査の結果のまとめ	139
	(1) 回答者の属性	139
	(2) 福祉に関する情報や相談	139
	(3) 就労の状況	139
	(4) サービスの利用や今後の利用	140
	(5) 社会参加等	140
	(6) 意思疎通の状況	140
	(7) 障害者の権利	141
	(8) 外出の状況	141
	(9) 防災の意識・対策	141
	(10) 豊島区の今後のありかたについて	142
2	回答者の属性	143
3	福祉に関する情報や相談	153
4	就労の状況	156
5	サービスの利用や今後の利用	160
6	社会参加等	163
7	意思疎通の状況	168
8	障害者の権利	169
9	外出の状況	175
10	防災の意識・対策	179
11	豊島区の今後のありかたについて	182
VI	難病患者調査	185
1	難病患者調査の結果のまとめ	185
	(1) 回答者の属性	185
	(2) 福祉に関する情報や相談	185
	(3) 介助について	185
	(4) 日常生活の状況や就労状況	185
	(5) サービスの利用や今後の利用	186
	(6) 社会参加等	186
	(7) 意思疎通の状況	186
	(8) 障害者の権利	186
	(9) 外出の状況	187
	(10) 防災の意識・対策	187
	(11) 豊島区の今後のありかたについて	187
2	回答者の属性	188
3	福祉に関する情報や相談	198
4	介助について	201

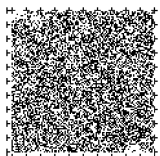


5	日常生活の状況や就労状況.....	203
6	サービスの利用や今後の利用.....	207
7	社会参加等.....	209
8	意思疎通の状況.....	212
9	障害者の権利.....	213
10	外出の状況.....	219
11	防災の意識・対策.....	223
12	豊島区の今後のありかたについて.....	226
<b>Ⅶ</b>	<b>障害児調査.....</b>	<b>229</b>
1	障害児調査の結果のまとめ.....	229
	(1) 回答者の属性.....	229
	(2) 就学前のお子さんについて.....	229
	(3) 就学中のお子さんについて.....	229
	(4) 福祉サービスの利用や今後の利用.....	229
	(5) 福祉に関する相談や情報.....	230
	(6) 外出の状況.....	230
	(7) 障害者の権利.....	230
	(8) 防災の意識・対策.....	230
	(9) 豊島区の今後のありかたについて.....	230
2	回答者の属性.....	231
3	就学前のお子さんについて.....	241
4	就学中のお子さんについて.....	242
5	福祉サービスの利用や今後の利用.....	243
6	福祉に関する相談や情報.....	247
7	病気や医療について.....	250
8	外出の状況.....	252
9	障害者の権利.....	256
10	防災の意識・対策.....	258
11	豊島区の今後のありかたについて.....	261
<b>Ⅷ</b>	<b>事業所調査.....</b>	<b>265</b>
1	事業所調査の結果のまとめ.....	265
	(1) 事業運営について.....	265
	(2) 職員について.....	265
	(3) 今後のサービス向上について.....	265
	(4) 危機管理について.....	266
	(5) 区の障害者施策について.....	266
2	事業運営について.....	267



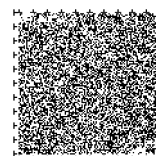
3	職員について .....	271
4	今後のサービス向上について .....	274
5	危機管理について .....	279
6	区の障害者施策について .....	281
Ⅸ	自由意見 .....	285
1	福祉に関する情報や相談 .....	285
2	サービスの利用状況・要望、経済的支援 .....	286
3	外出 .....	287
4	住居 .....	289
5	防犯・防災 .....	289
6	仕事・就労 .....	290
7	障害への理解・差別・虐待 .....	290
8	障害児支援について .....	292
9	行政 .....	292
10	その他 .....	294
	事業所からの自由意見 .....	295
(付)	使用した調査票 .....	299
1	身体障害者調査票 .....	299
2	知的障害者調査票 .....	310
3	精神障害者調査票 .....	322
4	難病患者調査票 .....	332
5	障害児調査票 .....	341
6	事業者調査票 .....	348

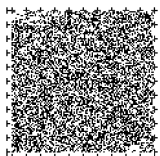






# I 調査の概要





## I 調査の概要

### 1 調査の目的

豊島区障害者計画・障害福祉計画・障害児福祉計画の改定を行うにあたり、障害者等の実態を把握・分析し、改訂作業に向けて必要となる基礎資料を得ることを目的として実施しました。

### 2 調査の設計

#### (1) 調査対象

身体障害者、知的障害者、精神障害者、難病患者、障害児、事業所の区分で、計6種類の調査を実施しました。

##### ①身体障害者

豊島区に住所を有する身体障害者手帳所持者（令和元年10月1日現在）

##### ②知的障害者

豊島区に住所を有する愛の手帳所持者（令和元年10月1日現在）

##### ③精神障害者

自立支援給付受給者(※)全数と、地域活動支援センター、家族会、医療機関等の利用者に承諾を得たかた（令和元年10月1日現在）

(※)障害福祉サービスに係る介護給付、訓練等給付、地域生活支援給付の受給者

##### ④難病患者

難病患者福祉手当受給者全数（令和元年10月1日現在）

##### ⑤障害児

児童通所支援利用者、その保護者（令和元年10月1日現在）

##### ⑥事業所

区内のすべての事業所（令和元年10月1日現在）

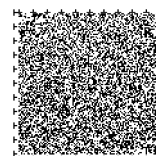
#### (2) 抽出方法

##### ①身体障害者

身体障害者手帳所持者のうち、対象者の偏りをなくすため、障害等級・障害種別を調整して抽出しました。

※18歳以上65歳未満 1,750人 ※65歳以上 250人

介護保険対象者の割合をサービス利用の実態に合わせるため、上記の年齢層内にて無作為抽出しました。



## ②知的障害者

愛の手帳所持者のうち、18歳以上を対象に偏りをなくするため、障害程度を調整して抽出しました。

## ③精神障害者

自立支援給付受給者は全員対象とし、その他各関係機関を通じて承諾を得られたかたに調査票を配布しました。

## ⑤障害児

児童通所支援（児童発達支援・医療型児童発達支援・保育所等訪問支援・居宅訪問型児童発達支援・放課後等デイサービス）の利用者全員を対象としました。

④難病患者と⑥事業所は全数に配布しました。

## (3) 調査方法及び調査期間

令和元年10月31日（木）～令和元年11月22日（金）

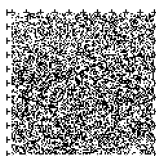
## 3 回収結果

回収状況は以下の通りです。

	身体障害者	知的障害者	精神障害者	難病患者
調査人数	2,000	500	500	700
有効回収数	868	242	183	369
有効回収率	43.4%	48.4%	36.6%	52.7%
前回回収率	43.1%	45.8%	38.4%	50.5%

	障害児	事業者	合計
調査人数	500	164	4,364
有効回収数	255	94	2,011
有効回収率	51.0%	57.3%	46.0%
前回回収率	—	—	44.2%

※障害児と事業所は今回、初めて調査を実施

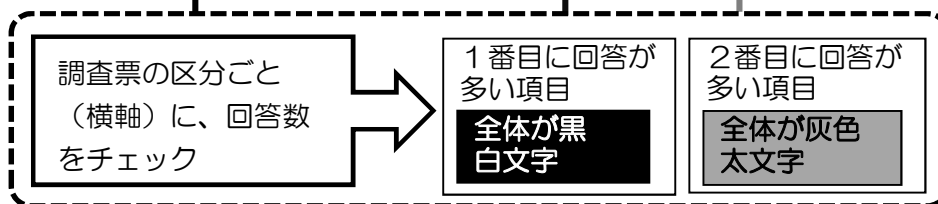


## 4 この報告書のみかた

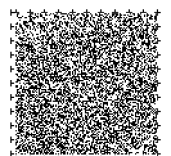
- 身体障害者と知的障害者に対する調査では、最初に現在生活している場所（生活の本拠）について質問しました。本調査は、地域生活の実態を把握するために実施しているため、この質問で施設等に入所していると回答したかたは、以降の質問では集計の対象から除外しました。
- 調査結果の比率は、その設問の回答者を基数として、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。そのため、合計が100%にならない場合があります。
- 複数回答形式の各項目の回答の合計を足上げた場合、回答者数を上回るため、回答比率の合計が100%を超えることがあります。
- 図表中の「N」とは、当該設問の対象となる人数を表します。そのため、回答すべき対象者の絞り込みを行っている場合には、アンケートの回収数と「N」の数値は異なる場合があります。
- 選択肢の語句が長い場合、省略した表現を用いることがあります。
- 特定の選択肢を選んだかただけに質問するなどの質問の流れによっては、質問の回答者数が少なくなる場合があります。回答者が30人未満の場合、有効な分析をする回答者数を満たしているとはいえませんが、参考として図表あるいは集計の結果を示しました。なお、参考としての図表である場合は、下記（例）のように示しています。  
（例）回答者数が少ないため、図は参考程度となります。
- クロス集計については下記のとおりです。

### 【図表の記載例】

		回答者数	とても満足している	おおむね満足している	やや不満である	とても不満である	無回答
全体	人数	242	25	111	58	9	39
	構成比		10.3%	45.9%	24.0%	3.7%	16.1%

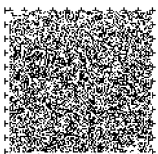
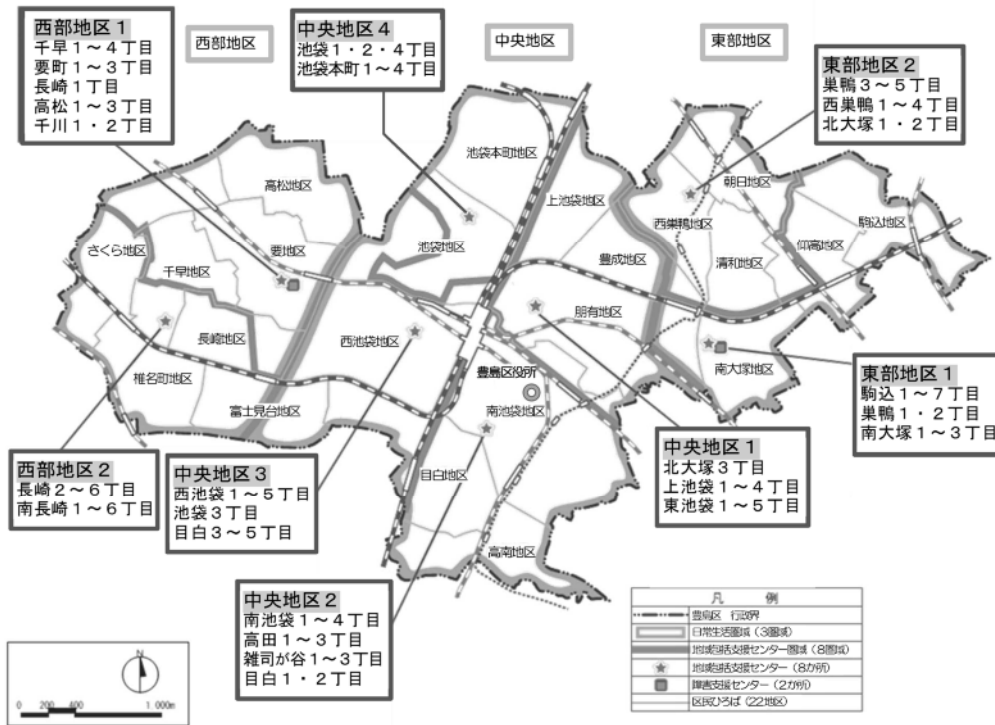


- ・回答が多い項目が複数ある場合は、その項目全てを着色しています。
- ・【記載例】は説明用に作成したイメージです。今回の調査の内容とは異なります。

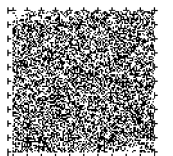


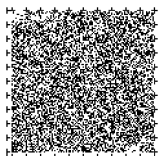
I 調査の概要  
 4 この報告書のみかた

居住地区の集計では、現住所の回答から、豊島区内8か所の地域包括支援センターの圏域に沿って、以下の図のように8つの地区に区分して示しました。



## Ⅱ 調査結果のまとめ







## Ⅱ 調査結果のまとめ（共通設問項目）

\*身体障害者、知的障害者、精神障害者、難病患者には、共通の設問となっていたものがありますので、それらをまとめたものです。また、障害児も一部、共通の設問はまとめていますが、回答の選択肢が異なるものもあります。事業所については、共通の設問はありません。

\*視覚、聴覚等の障害種別の回答者数は、アンケートへの回答をもとに作成していますが、46人が未記入であったため、身体合計値とは異なります。

\*コメント作成にあたって、回答数の少ない「平衡機能障害」「音声・言語・そしゃく機能の障害」については、特に重要な項目以外は触れていません。

\*前回、同様の調査をしたものは、表に「参考 前回（全体）」として記載しています。

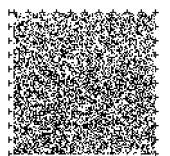
### 1 病気や医療について

#### 1 生活習慣病の有無（複数回答）

全体では、「特にない」を別にすれば、「高血圧」が最も多く、次いで「肥満」となっています。障害区分別でみると、内部障害のかたでは「高血圧」が37.5%と最も多くなっています。また、「肥満」が精神障害のかたでは24.0%、知的障害のかたでは17.8%と高くなっています。

		回答者数	高血圧	脂質異常 (高脂血症)	糖尿病	心臓病	慢性閉塞性肺疾患 (COPD)	肥満	その他	特にない	無回答	
全体	人数	1,638	396	193	181	143	13	214	107	759	92	
	構成比		24.2%	11.8%	11.1%	8.7%	0.8%	13.1%	6.5%	46.3%	5.6%	
身体(計)		850	265	105	116	100	8	91	61	346	42	
			31.2%	12.4%	13.6%	11.8%	0.9%	10.7%	7.2%	40.7%	4.9%	
身 体	視覚障害	人数	61	13	9	6	2	0	5	6	32	4
		構成比		21.3%	14.8%	9.8%	3.3%	0.0%	8.2%	9.8%	52.5%	6.6%
	聴覚障害	人数	67	14	7	9	5	1	7	8	31	4
		構成比		20.9%	10.4%	13.4%	7.5%	1.5%	10.4%	11.9%	46.3%	6.0%
	平衡機能障害	人数	13	4	3	1	1	0	1	0	4	0
		構成比		30.8%	23.1%	7.7%	7.7%	0.0%	7.7%	0.0%	30.8%	0.0%
	音声・言語・そしゃく機能の障害	人数	22	4	2	2	2	0	1	2	8	5
		構成比		18.2%	9.1%	9.1%	9.1%	0.0%	4.5%	9.1%	36.4%	22.7%
	肢体不自由	人数	374	118	47	42	19	3	43	23	165	15
		構成比		31.6%	12.6%	11.2%	5.1%	0.8%	11.5%	6.1%	44.1%	4.0%
	内部障害	人数	269	101	32	51	71	3	28	20	93	4
		構成比		37.5%	11.9%	19.0%	26.4%	1.1%	10.4%	7.4%	34.6%	1.5%
	知的	人数	236	28	14	16	5	0	42	14	131	19
		構成比		11.9%	5.9%	6.8%	2.1%	0.0%	17.8%	5.9%	55.5%	8.1%
精神	人数	183	27	24	14	11	2	44	13	85	14	
	構成比		14.8%	13.1%	7.7%	6.0%	1.1%	24.0%	7.1%	46.4%	7.7%	
難病	人数	369	76	50	35	27	3	37	19	197	17	
	構成比		20.6%	13.6%	9.5%	7.3%	0.8%	10.0%	5.1%	53.4%	4.6%	

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字



## 2 かかりつけ医の有無及び持っていない理由

かかりつけ医の有無については、全体では、「持っている」が多くなっています。

障害区分別でみると、「持っている」の比率が高いのは、障害児85.5%となっています。一方、「持っていない」の比率が高いのは、聴覚障害のかた 38.8%、視覚障害のかた 27.9%、難病のかた25.2%となっています。

かかりつけ医を「持っていない」理由については、「今後必要と思うが今は必要でない」が最も多く、次いで「必要と思うが見つからない」となっています。

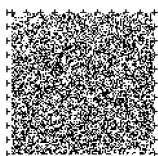
障害区分別でみると、「必要と思うが見つからない」との回答が多いのは、難病のかた 41.9%、次いで障害児 39.4%、肢体不自由のかた 33.8%です。

		回答者数	持っていない	持っている	無回答	
全体	人数	1,893	425	1,424	44	
	構成比		22.5%	75.2%	2.3%	
身体(計)	人数	850	205	620	25	
	構成比		24.1%	72.9%	2.9%	
身体	視覚障害	人数	61	17	43	1
		構成比		27.9%	70.5%	1.6%
	聴覚障害	人数	67	26	40	1
		構成比		38.8%	59.7%	1.5%
	平衡機能障害	人数	13	2	10	1
		構成比		15.4%	76.9%	7.7%
	音声・言語・そしゃく機能の障害	人数	22	4	18	0
		構成比		18.2%	81.8%	0.0%
	肢体不自由	人数	374	80	287	7
		構成比		21.4%	76.7%	1.9%
	内部障害	人数	269	59	207	3
		構成比		21.9%	77.0%	1.1%
	知的	人数	236	54	176	6
		構成比		22.9%	74.6%	2.5%
精神	人数	183	40	138	5	
	構成比		21.9%	75.4%	2.7%	
難病	人数	369	93	272	4	
	構成比		25.2%	73.7%	1.1%	
障害児	人数	255	33	218	4	
	構成比		12.9%	85.5%	1.6%	

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

		回答者数	必要でない	今後必要と思うが今は必要でない	必要と思うが見つからない	その他	無回答	
全体	人数	425	70	132	124	51	48	
	構成比		16.5%	31.1%	29.2%	12.0%	11.3%	
身体(計)	人数	205	44	65	50	22	24	
	構成比		21.5%	31.7%	24.4%	10.7%	11.7%	
身体	視覚障害	人数	17	4	2	5	3	3
		構成比		23.5%	11.8%	29.4%	17.6%	17.6%
	聴覚障害	人数	26	9	8	3	4	2
		構成比		34.6%	30.8%	11.5%	15.4%	7.7%
	平衡機能障害	人数	2	0	1	1	0	0
		構成比		0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	音声・言語・そしゃく機能の障害	人数	4	2	0	2	0	0
		構成比		50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	肢体不自由	人数	80	13	23	27	5	12
		構成比		16.3%	28.8%	33.8%	6.3%	15.0%
	内部障害	人数	59	13	21	10	10	5
		構成比		22.0%	35.6%	16.9%	16.9%	8.5%
	知的	人数	54	11	18	12	8	5
		構成比		20.4%	33.3%	22.2%	14.8%	9.3%
精神	人数	40	5	13	10	5	7	
	構成比		12.5%	32.5%	25.0%	12.5%	17.5%	
難病	人数	93	7	33	39	8	6	
	構成比		7.5%	35.5%	41.9%	8.6%	6.5%	
障害児	人数	33	3	3	13	8	6	
	構成比		9.1%	9.1%	39.4%	24.2%	18.2%	

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字



## 2 福祉に関する相談や情報

### 1 福祉に関する情報の入手手段（複数回答）

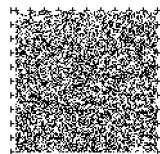
全体では、「広報紙（東京都・豊島区）」が最も多く、次いで「区役所窓口（障害福祉課、東部・西部障害支援センター、保健所、健康相談所を含む）」となっています。

障害区分別でみると、視覚障害のかたでは、「インターネット」が36.1%と最も多くなっています。

		回答者数	広報紙(東京都・豊島区)	ホームページ(東京都・豊島区)	障害者福祉のしおり	区役所窓口(障害福祉課、東部・西部障害支援センター、保健所、健康相談所を含む)	一般の新聞・雑誌	テレビ・ラジオ	インターネット	SNS	
全体	人数	1,638	523	316	263	444	111	156	282	41	
	構成比		31.9%	19.3%	16.1%	27.1%	6.8%	9.5%	17.2%	2.5%	
身体(計)	人数	850	279	190	169	210	58	88	169	19	
	構成比		32.8%	22.4%	19.9%	24.7%	6.8%	10.4%	19.9%	2.2%	
身体	視覚障害	人数	61	14	12	8	14	1	7	22	3
		構成比		23.0%	19.7%	13.1%	23.0%	1.6%	11.5%	36.1%	4.9%
	聴覚障害	人数	67	23	17	20	25	5	4	14	1
		構成比		34.3%	25.4%	29.9%	37.3%	7.5%	6.0%	20.9%	1.5%
	平衡機能障害	人数	13	2	2	4	5	1	0	4	0
		構成比		15.4%	15.4%	30.8%	38.5%	7.7%	0.0%	30.8%	0.0%
	音声・言語・そしゃく機能の障害	人数	22	8	3	4	6	3	4	5	0
		構成比		36.4%	13.6%	18.2%	27.3%	13.6%	18.2%	22.7%	0.0%
	肢体不自由	人数	374	131	82	83	88	30	44	61	9
		構成比		35.0%	21.9%	22.2%	23.5%	8.0%	11.8%	16.3%	2.4%
	内部障害	人数	269	84	69	47	64	11	19	60	6
		構成比		31.2%	25.7%	17.5%	23.8%	4.1%	7.1%	22.3%	2.2%
	知的	人数	236	83	17	62	82	13	14	7	1
		構成比		35.2%	7.2%	26.3%	34.7%	5.5%	5.9%	3.0%	0.4%
精神	人数	183	26	16	10	58	4	17	28	8	
	構成比		14.2%	8.7%	5.5%	31.7%	2.2%	9.3%	15.3%	4.4%	
難病	人数	369	135	93	22	94	36	37	78	13	
	構成比		36.6%	25.2%	6.0%	25.5%	9.8%	10.0%	21.1%	3.5%	
参考 前回(全体)	人数	1,595	583	209	261	404	180	287	264	-	
	構成比		36.6%	13.1%	16.4%	25.3%	11.3%	18.0%	16.6%	-	

		回覧板・掲示板	民生委員・児童委員	家族・親戚	友人・知人	学校	事業所・施設	病院・診療所	その他	無回答	
全体	人数	41	16	177	117	2	174	268	80	122	
	構成比	2.5%	1.0%	10.8%	7.1%	0.1%	10.6%	16.4%	4.9%	7.4%	
身体(計)	人数	19	14	71	57	0	54	136	33	60	
	構成比	2.2%	1.6%	8.4%	6.7%	0.0%	6.4%	16.0%	3.9%	7.1%	
身体	視覚障害	人数	1	2	7	6	0	7	8	3	6
		構成比	1.6%	3.3%	11.5%	9.8%	0.0%	11.5%	13.1%	4.9%	9.8%
	聴覚障害	人数	2	1	6	7	0	6	5	3	3
		構成比	3.0%	1.5%	9.0%	10.4%	0.0%	9.0%	7.5%	4.5%	4.5%
	平衡機能障害	人数	0	0	1	3	0	2	3	0	0
		構成比	0.0%	0.0%	7.7%	23.1%	0.0%	15.4%	23.1%	0.0%	0.0%
	音声・言語・そしゃく機能の障害	人数	0	0	0	2	0	1	3	2	2
		構成比	0.0%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	4.5%	13.6%	9.1%	9.1%
	肢体不自由	人数	9	7	35	32	0	37	38	17	27
		構成比	2.4%	1.9%	9.4%	8.6%	0.0%	9.9%	10.2%	4.5%	7.2%
	内部障害	人数	7	3	16	10	0	2	71	5	15
		構成比	2.6%	1.1%	5.9%	3.7%	0.0%	0.7%	26.4%	1.9%	5.6%
	知的	人数	10	0	54	24	2	64	10	11	18
		構成比	4.2%	0.0%	22.9%	10.2%	0.8%	27.1%	4.2%	4.7%	7.6%
精神	人数	2	0	21	12	0	52	35	22	20	
	構成比	1.1%	0.0%	11.5%	6.6%	0.0%	28.4%	19.1%	12.0%	10.9%	
難病	人数	10	2	31	24	0	4	87	14	24	
	構成比	2.7%	0.5%	8.4%	6.5%	0.0%	1.1%	23.6%	3.8%	6.5%	
参考 前回(全体)	人数	64	18	175	149	-	165	354	62	85	
	構成比	4.0%	1.1%	11.0%	9.3%	-	10.3%	22.2%	3.9%	5.3%	

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字



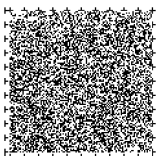
## 2 よく利用する相談窓口

全体では、「区の障害福祉課」が最も多く、次いで「東部・西部障害支援センター」となっています。  
障害区分別でみると、精神障害のかたは「事業所・施設」が22.4%、難病のかたは「保健所・健康相談所」が16.3%と最も多くなっています。

		回答者数	1 区の障害福祉課	2 豊島区立心身障害者福祉センター	3 東部・西部障害支援センター	4 保健所・健康相談所	1、2、3、4以外の区役所窓口	社会福祉協議会	
全体	人数	1,638	364	38	125	80	28	11	
	構成比		22.2%	2.3%	7.6%	4.9%	1.7%	0.7%	
身体(計)	人数	850	209	23	104	6	11	7	
	構成比		24.6%	2.7%	12.2%	0.7%	1.3%	0.8%	
身 体	視覚障害	人数	61	12	2	9	0	0	2
		構成比		19.7%	3.3%	14.8%	0.0%	0.0%	3.3%
	聴覚障害	人数	67	23	5	6	0	1	1
		構成比		34.3%	7.5%	9.0%	0.0%	1.5%	1.5%
	平衡機能障害	人数	13	6	0	1	0	1	0
		構成比		46.2%	0.0%	7.7%	0.0%	7.7%	0.0%
	音声・言語・そしゃく機能の障害	人数	22	6	0	4	0	0	0
		構成比		27.3%	0.0%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%
	肢体不自由	人数	374	89	9	48	4	7	1
		構成比		23.8%	2.4%	12.8%	1.1%	1.9%	0.3%
	内部障害	人数	269	66	4	33	2	2	2
		構成比		24.5%	1.5%	12.3%	0.7%	0.7%	0.7%
知的	人数	236	71	11	5	5	2	1	
	構成比		30.1%	4.7%	2.1%	2.1%	0.8%	0.4%	
精神	人数	183	37	0	7	9	6	0	
	構成比		20.2%	0.0%	3.8%	4.9%	3.3%	0.0%	
難病	人数	369	47	4	9	60	9	3	
	構成比		12.7%	1.1%	2.4%	16.3%	2.4%	0.8%	
参考 前回(全体)	人数	1,595	315	-	181	77	20	6	
	構成比		19.7%	-	11.3%	4.8%	1.3%	0.4%	

		学校	事業所・施設	民生委員・児童委員	病院・診療所	その他	特にない	無回答	
全体	人数	0	94	6	183	47	511	151	
	構成比	0.0%	5.7%	0.4%	11.2%	2.9%	31.2%	9.2%	
身体(計)	人数	0	16	5	88	18	287	76	
	構成比	0.0%	1.9%	0.6%	10.4%	2.1%	33.8%	8.9%	
身 体	視覚障害	人数	0	1	0	6	0	26	3
		構成比	0.0%	1.6%	0.0%	9.8%	0.0%	42.6%	4.9%
	聴覚障害	人数	0	1	0	3	3	15	9
		構成比	0.0%	1.5%	0.0%	4.5%	4.5%	22.4%	13.4%
	平衡機能障害	人数	0	0	0	2	0	3	0
		構成比	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	0.0%	23.1%	0.0%
	音声・言語・そしゃく機能の障害	人数	0	0	0	1	0	9	2
		構成比	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%	40.9%	9.1%
	肢体不自由	人数	0	13	4	36	11	118	34
		構成比	0.0%	3.5%	1.1%	9.6%	2.9%	31.6%	9.1%
	内部障害	人数	0	1	0	37	3	99	20
		構成比	0.0%	0.4%	0.0%	13.8%	1.1%	36.8%	7.4%
知的	人数	0	35	0	8	6	63	29	
	構成比	0.0%	14.8%	0.0%	3.4%	2.5%	26.7%	12.3%	
精神	人数	0	41	0	28	13	21	21	
	構成比	0.0%	22.4%	0.0%	15.3%	7.1%	11.5%	11.5%	
難病	人数	0	2	1	59	10	140	25	
	構成比	0.0%	0.5%	0.3%	16.0%	2.7%	37.9%	6.8%	
参考 前回(全体)	人数	-	89	4	230	47	366	245	
	構成比	-	5.6%	0.3%	14.4%	2.9%	22.9%	15.4%	

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字

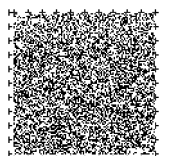


### 3 相談窓口の対応の満足度

全体では、「おおむね満足している」が最も多く、次いで「とても満足している」となっています。  
障害区分別でみると、《不満》（「やや不満である」と「大変不満である」の合計）が高いのは、障害児 29.8%、視覚障害のかた 22.9%、聴覚障害のかた 20.9%となっています。  
前回調査との比較では、《満足》（「とても満足している」と「おおむね満足している」の合計）は 65.4%であり、今回は 65.9%でした。一方、《不満》は前回 17.1%であり、今回は 17.4%でした。

		回答者数	とても満足している	おおむね満足している	やや不満である	大変不満である	無回答	
全体	人数	1,893	277	972	255	74	315	
	構成比		14.6%	51.3%	13.5%	3.9%	16.6%	
身体(計)	人数	850	104	462	107	27	150	
	構成比		12.2%	54.4%	12.6%	3.2%	17.6%	
身 体	視覚障害	人数	61	5	32	11	3	10
		構成比		8.2%	52.5%	18.0%	4.9%	16.4%
	聴覚障害	人数	67	10	30	11	3	13
		構成比		14.9%	44.8%	16.4%	4.5%	19.4%
	平衡機能障害	人数	13	3	8	0	1	1
		構成比		23.1%	61.5%	0.0%	7.7%	7.7%
	音声・言語・そしゃく機能の障害	人数	22	6	9	1	2	4
		構成比		27.3%	40.9%	4.5%	9.1%	18.2%
	肢体不自由	人数	374	44	203	51	10	66
		構成比		11.8%	54.3%	13.6%	2.7%	17.6%
	内部障害	人数	269	36	158	30	5	40
		構成比		13.4%	58.7%	11.2%	1.9%	14.9%
	知的	人数	236	50	108	23	7	48
		構成比		21.2%	45.8%	9.7%	3.0%	20.3%
精神	人数	183	40	96	26	6	15	
	構成比		21.9%	52.5%	14.2%	3.3%	8.2%	
難病	人数	369	47	184	45	12	81	
	構成比		12.7%	49.9%	12.2%	3.3%	22.0%	
障害児	人数	255	36	122	54	22	21	
	構成比		14.1%	47.8%	21.2%	8.6%	8.2%	
参考 前回(全体)	人数	1,595	208	835	214	59	279	
	構成比		13.0%	52.4%	13.4%	3.7%	17.5%	

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字



### 3 就労状況

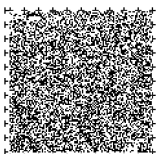
#### 1 就労状況

全体では、「今、仕事・作業をしており、今後も続けたい」が最も多く、次いで「今、仕事・作業をしていないが、今後も仕事しない」となっています。

障害区分別でみると、「今、仕事・作業をしていないが、今後仕事をしたい」が高いのは、視覚障害のかた 27.9%、精神障害のかた 25.1%となっています。

		回答者数	今、仕事・作業をしており、今後も続けたい	今、仕事・作業をしているが、仕事は変えたい	今、仕事・作業をしているが、やめたい	今、仕事・作業をしていないが、今後仕事をしたい	今、仕事・作業をしていないが、今後も仕事しない	無回答	
全体	人数	1,269	626	57	33	189	284	80	
	構成比		49.3%	4.5%	2.6%	14.9%	22.4%	6.3%	
身体(計)	人数	850	379	29	28	123	231	60	
	構成比		44.6%	3.4%	3.3%	14.5%	27.2%	7.1%	
身 体	視覚障害	人数	61	29	0	1	17	11	3
		構成比		47.5%	0.0%	1.6%	27.9%	18.0%	4.9%
	聴覚障害	人数	67	30	9	4	6	11	7
		構成比		44.8%	13.4%	6.0%	9.0%	16.4%	10.4%
	平衡機能障害	人数	13	2	0	1	3	6	1
		構成比		15.4%	0.0%	7.7%	23.1%	46.2%	7.7%
	音声・言語・そしゃく機能の障害	人数	22	9	0	1	5	4	3
		構成比		40.9%	0.0%	4.5%	22.7%	18.2%	13.6%
	肢体不自由	人数	374	145	10	10	57	120	32
		構成比		38.8%	2.7%	2.7%	15.2%	32.1%	8.6%
	内部障害	人数	269	141	8	8	38	65	9
		構成比		52.4%	3.0%	3.0%	14.1%	24.2%	3.3%
	知的	人数	236	153	9	2	20	39	13
		構成比		64.8%	3.8%	0.8%	8.5%	16.5%	5.5%
精神	人数	183	94	19	3	46	14	7	
	構成比		51.4%	10.4%	1.6%	25.1%	7.7%	3.8%	
参考 前回(全体)	人数	1,249	616	65	32	188	258	90	
	構成比		49.3%	5.2%	2.6%	15.1%	20.7%	7.2%	

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字





## 2 収入

全体では、「20万円以上」が最も多く、次いで「10万円以上20万円未満」となっています。

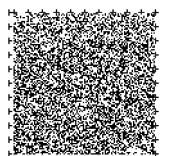
障害区分別で見ると、知的障害のかたでは「10万円以上20万円未満」が31.7%、「1万円未満」と「1万円以上2万円未満」があわせて39.7%と二極化しています。

また、精神障害のかたは「1万円未満」が46.6%、「1万円以上2万円未満」が21.6%となっており、あわせて68.2%の人が2万円未満となっています。

前回調査との比較では、1、2位は同じですが、「20万円以上」と回答したかたの割合は約5ポイント増加しています。知的障害者のかたで前回最も多かったのは「1万円未満」でした。

		回答者数	1万円未満	1万円以上 2万円未満	2万円以上 3万円未満	3万円以上 5万円未満	5万円以上 10万円 未満	10万円以上 20万円 未満	20万円 以上	収入はない	無回答	
全体	人数	886	110	67	15	34	115	221	299	11	14	
	構成比		12.4%	7.6%	1.7%	3.8%	13.0%	24.9%	33.7%	1.2%	1.6%	
身体(計)	人数	436	19	11	4	16	45	108	223	4	6	
	構成比		4.4%	2.5%	0.9%	3.7%	10.3%	24.8%	51.1%	0.9%	1.4%	
身 体	視覚障害	人数	30	0	0	1	1	2	7	18	0	1
		構成比		0.0%	0.0%	3.3%	3.3%	6.7%	23.3%	60.0%	0.0%	3.3%
	聴覚障害	人数	43	5	2	0	0	4	14	18	0	0
		構成比		11.6%	4.7%	0.0%	0.0%	9.3%	32.6%	41.9%	0.0%	0.0%
	平衡機能障害	人数	3	0	0	0	0	0	2	1	0	0
		構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
	音声・言語・そしゃく機能の障害	人数	10	0	0	0	2	0	4	4	0	0
		構成比		0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%
	肢体不自由	人数	165	12	7	2	6	19	40	73	3	3
		構成比		7.3%	4.2%	1.2%	3.6%	11.5%	24.2%	44.2%	1.8%	1.8%
内部障害	人数	157	2	1	0	4	15	31	103	0	1	
	構成比		1.3%	0.6%	0.0%	2.5%	9.6%	19.7%	65.6%	0.0%	0.6%	
知的	人数	164	36	29	3	2	32	52	1	4	5	
	構成比		22.0%	17.7%	1.8%	1.2%	19.5%	31.7%	0.6%	2.4%	3.0%	
精神	人数	116	54	25	7	10	10	6	3	1	0	
	構成比		46.6%	21.6%	6.0%	8.6%	8.6%	5.2%	2.6%	0.9%	0.0%	
難病	人数	170	1	2	1	6	28	55	72	2	3	
	構成比		0.6%	1.2%	0.6%	3.5%	16.5%	32.4%	42.4%	1.2%	1.8%	
参考 前回(全体)	人数	870	114	46	29	38	133	209	246	19	36	
	構成比		13.1%	5.3%	3.3%	4.4%	15.3%	24.0%	28.3%	2.2%	4.1%	

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字



## 4 外出の状況

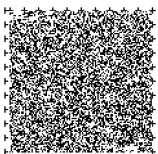
### 1 外出の頻度

全体では、「ほぼ毎日」が最も多く、次いで「週に3～4回」となっています。

障害区分別でみると、外出の頻度にはやや差はあるものの、「まったく外出しない」はいずれも非常に少なくなっています。

		回答者数	ほぼ毎日	週に3～4回	週に1～2回	月に2～3回	年に数回	まったく外出しない	無回答	
全体	人数	1,638	946	298	153	103	35	11	92	
	構成比		57.8%	18.2%	9.3%	6.3%	2.1%	0.7%	5.6%	
身体(計)	人数	850	471	155	73	51	27	5	68	
	構成比		55.4%	18.2%	8.6%	6.0%	3.2%	0.6%	8.0%	
身 体	視覚障害	人数	61	38	9	4	4	1	0	5
		構成比		62.3%	14.8%	6.6%	6.6%	1.6%	0.0%	8.2%
	聴覚障害	人数	67	37	8	5	3	4	0	10
		構成比		55.2%	11.9%	7.5%	4.5%	6.0%	0.0%	14.9%
	平衡機能障害	人数	13	6	0	2	2	2	0	1
		構成比		46.2%	0.0%	15.4%	15.4%	15.4%	0.0%	7.7%
	音声・言語・そしゃく機能の障害	人数	22	14	2	1	2	2	0	1
		構成比		63.6%	9.1%	4.5%	9.1%	9.1%	0.0%	4.5%
	肢体不自由	人数	374	184	83	39	28	15	3	22
		構成比		49.2%	22.2%	10.4%	7.5%	4.0%	0.8%	5.9%
	内部障害	人数	269	168	52	13	12	1	0	23
		構成比		62.5%	19.3%	4.8%	4.5%	0.4%	0.0%	8.6%
知的	人数	236	153	27	20	16	5	3	12	
	構成比		64.8%	11.4%	8.5%	6.8%	2.1%	1.3%	5.1%	
精神	人数	183	105	47	14	6	1	0	10	
	構成比		57.4%	25.7%	7.7%	3.3%	0.5%	0.0%	5.5%	
難病	人数	369	217	69	46	30	2	3	2	
	構成比		58.8%	18.7%	12.5%	8.1%	0.5%	0.8%	0.5%	
参考 前回(全体)	人数	1,595	920	255	177	83	28	19	113	
	構成比		57.7%	16.0%	11.1%	5.2%	1.8%	1.2%	7.1%	

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字





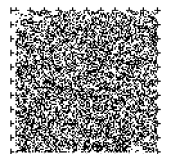
### 3 外出時にけがをした経験の有無

全体では「ない」が多くなっています。

障害区分別で見ると、「ある」への回答が多いのは、視覚障害のかたで41.0%となっています。

		回答者数	ある	ない	無回答	
全体	人数	1,893	264	1,472	157	
	構成比		13.9%	77.8%	8.3%	
身体(計)		850	137	603	105	
			16.1%	71.5%	12.4%	
身 体	視覚障害	人数	61	25	32	4
		構成比		41.0%	52.5%	6.6%
	聴覚障害	人数	67	5	50	12
		構成比		7.5%	74.6%	17.9%
	平衡機能障害	人数	13	2	9	2
		構成比		15.4%	69.2%	15.4%
	音声・言語・そしゃく機能の障害	人数	22	5	13	4
		構成比		22.7%	59.1%	18.2%
	肢体不自由	人数	374	62	273	39
		構成比		16.6%	73.0%	10.4%
	内部障害	人数	269	28	204	37
		構成比		10.4%	75.8%	13.8%
	知的		236	24	193	19
				10.2%	81.8%	8.1%
精神		183	27	141	15	
			14.8%	77.0%	8.2%	
難病		369	52	309	8	
			14.1%	83.7%	2.2%	
障害児		255	24	221	10	
			9.4%	86.7%	3.9%	
参考 前回(全体)		1,595	261	1,219	115	
			16.4%	76.4%	7.2%	

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字



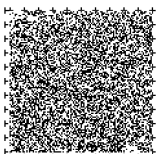
## 4 自宅内でけがをした経験の有無

全体では「ない」が多くなっています。

障害区分別で見ると、「ある」への回答が多いのは、視覚障害のかたで26.2%となっています。

		回答者数	ある	ない	無回答	
全体	人数	1,893	208	1,490	195	
	構成比		11.0%	78.7%	10.3%	
身体(計)	人数	850	112	629	109	
	構成比		13.2%	74.0%	12.8%	
身 体	視覚障害	人数	61	16	40	5
		構成比		26.2%	65.6%	8.2%
	聴覚障害	人数	67	5	52	10
		構成比		7.5%	77.6%	14.9%
	平衡機能障害	人数	13	0	11	2
		構成比		0.0%	84.6%	15.4%
	音声・言語・そしゃく機能の障害	人数	22	2	19	1
		構成比		9.1%	86.4%	4.5%
	肢体不自由	人数	374	60	275	39
		構成比		16.0%	73.5%	10.4%
	内部障害	人数	269	22	208	39
		構成比		8.2%	77.3%	14.5%
	知的	人数	236	10	206	20
		構成比		4.2%	87.3%	8.5%
精神	人数	183	23	140	20	
	構成比		12.6%	76.5%	10.9%	
難病	人数	369	46	292	31	
	構成比		12.5%	79.1%	8.4%	
障害児	人数	255	17	223	15	
	構成比		6.7%	87.5%	5.9%	
参考 前回(全体)	人数	1,595	227	1,242	126	
	構成比		14.2%	77.9%	7.9%	

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字



## 5 まちのバリアフリーに関する満足度

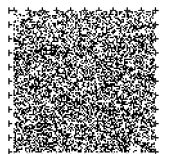
全体では「おおむね満足している」が最も多く、次いで「やや不満である」となっています。

障害区分別で見ると、肢体不自由のかたと難病のかたは「やや不満である」が最も多くなっています。

前回調査との比較では、《満足》（「とても満足している」と「おおむね満足している」の合計）は前回 40.3%であったのに対して、今回は 45.2%でした。一方、《不満》（「やや不満である」と「とても不満である」の合計）は前回 45.6%であったのに対して、今回は 44.3%でした。

		回答者数	とても満足している	おおむね満足している	やや不満である	とても不満である	無回答	
全体	人数	1,893	93	<b>763</b>	<b>658</b>	179	200	
	構成比		4.9%	<b>40.3%</b>	<b>34.8%</b>	9.5%	10.6%	
身体(計)	人数	850	31	<b>309</b>	<b>312</b>	90	108	
	構成比		3.6%	<b>36.4%</b>	<b>36.7%</b>	10.6%	12.7%	
身 体	視覚障害	人数	61	3	<b>23</b>	<b>19</b>	11	5
		構成比		4.9%	<b>37.7%</b>	<b>31.1%</b>	18.0%	8.2%
	聴覚障害	人数	67	2	<b>26</b>	<b>23</b>	2	14
		構成比		3.0%	<b>38.8%</b>	<b>34.3%</b>	3.0%	20.9%
	平衡機能障害	人数	13	0	<b>7</b>	<b>4</b>	0	2
		構成比		0.0%	<b>53.8%</b>	<b>30.8%</b>	0.0%	15.4%
	音声・言語・そしゃく機能の障害	人数	22	1	<b>10</b>	<b>4</b>	<b>4</b>	3
		構成比		4.5%	<b>45.5%</b>	<b>18.2%</b>	<b>18.2%</b>	13.6%
	肢体不自由	人数	374	7	<b>116</b>	<b>159</b>	54	38
		構成比		1.9%	<b>31.0%</b>	<b>42.5%</b>	14.4%	10.2%
	内部障害	人数	269	13	<b>116</b>	<b>96</b>	12	32
		構成比		4.8%	<b>43.1%</b>	<b>35.7%</b>	4.5%	11.9%
知的	人数	236	25	<b>110</b>	<b>56</b>	9	36	
	構成比		10.6%	<b>46.6%</b>	<b>23.7%</b>	3.8%	15.3%	
精神	人数	183	18	<b>90</b>	<b>45</b>	10	20	
	構成比		9.8%	<b>49.2%</b>	<b>24.6%</b>	5.5%	10.9%	
難病	人数	369	14	<b>147</b>	<b>149</b>	42	17	
	構成比		3.8%	<b>39.8%</b>	<b>40.4%</b>	11.4%	4.6%	
障害児	人数	255	5	<b>107</b>	<b>96</b>	28	19	
	構成比		2.0%	<b>42.0%</b>	<b>37.6%</b>	11.0%	7.5%	
参考 前回(全体)	人数	1,403	62	<b>504</b>	<b>487</b>	153	173	
	構成比		4.4%	<b>35.9%</b>	<b>34.7%</b>	10.9%	12.3%	

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字



## 5 防災の意識・対策について

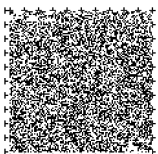
### 1 豊島区障害者防災の手引きの認知度

「知らない」への回答が多くなっています。

障害区分別でみると、「知らない」と回答したかたは、難病のかた 81.0%、精神障害のかた 79.2%、障害児 78.0%が多くなっています。

		回答者数	知っている	知らない	無回答	
全体	人数	1,893	379	1,425	89	
	構成比		20.0%	75.3%	4.7%	
身体(計)	人数	850	195	612	43	
	構成比		22.9%	72.0%	5.1%	
身 体	視覚障害	人数	61	18	40	3
		構成比		29.5%	65.6%	4.9%
	聴覚障害	人数	67	16	48	3
		構成比		23.9%	71.6%	4.5%
	平衡機能障害	人数	13	6	6	1
		構成比		46.2%	46.2%	7.7%
	音声・言語・そしゃく機能の障害	人数	22	6	15	1
		構成比		27.3%	68.2%	4.5%
	肢体不自由	人数	374	83	273	18
		構成比		22.2%	73.0%	4.8%
内部障害	人数	269	61	197	11	
	構成比		22.7%	73.2%	4.1%	
知的	人数	236	54	170	12	
	構成比		22.9%	72.0%	5.1%	
精神	人数	183	25	145	13	
	構成比		13.7%	79.2%	7.1%	
難病	人数	369	57	299	13	
	構成比		15.4%	81.0%	3.5%	
障害児	人数	255	48	199	8	
	構成比		18.8%	78.0%	3.1%	

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字



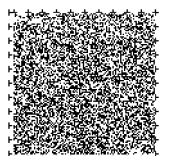
## 2 防災意識・対策の有無

全体では「防災について多少は意識しているが、具体的な対策は行っていない」が最も多く、次いで「防災を日常的に意識し、具体的な対策を行っている」が多くなっています。

障害区分別でみると、知的障害のかた、精神障害のかたについては、「防災についてはほとんど意識しておらず、具体的な対策は行っていない」への回答が、それぞれ28.0%、29.0%と多いのも特徴です。

		回答者数	防災を日常的に意識し、具体的な対策を行っている	防災について多少は意識しているが、具体的な対策は行っていない	防災についてほとんど意識しておらず、具体的な対策は行っていない	無回答	
全体	人数	1,893	441	1,017	319	116	
	構成比		23.3%	53.7%	16.9%	6.1%	
身体(計)	人数	850	181	481	131	57	
	構成比		21.3%	56.6%	15.4%	6.7%	
身 体	視覚障害	人数	61	18	31	9	3
		構成比		29.5%	50.8%	14.8%	4.9%
	聴覚障害	人数	67	17	31	13	6
		構成比		25.4%	46.3%	19.4%	9.0%
	平衡機能障害	人数	13	5	7	1	0
		構成比		38.5%	53.8%	7.7%	0.0%
	音声・言語・そしゃく機能の障害	人数	22	9	7	5	1
		構成比		40.9%	31.8%	22.7%	4.5%
	肢体不自由	人数	374	76	220	50	28
		構成比		20.3%	58.8%	13.4%	7.5%
	内部障害	人数	269	56	158	45	10
		構成比		20.8%	58.7%	16.7%	3.7%
	知的	人数	236	35	109	66	26
		構成比		14.8%	46.2%	28.0%	11.0%
精神	人数	183	30	88	53	12	
	構成比		16.4%	48.1%	29.0%	6.6%	
難病	人数	369	103	205	53	8	
	構成比		27.9%	55.6%	14.4%	2.2%	
障害児	人数	255	92	134	16	13	
	構成比		36.1%	52.5%	6.3%	5.1%	

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字



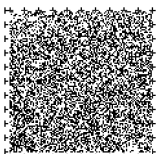
### 3 災害時を想定した対応方法に関する安心度合い

全体では、「やや不安である」が最も多く、次いで「とても不安である」となっています。

障害区分別でみると、「やや不安である」がおおむね5割前後となっていますが、知的障害のかたでは、35.2%とやや少なくなっています。

		回答者数	とても安心 感がある	おおむね安 心感がある	やや不安で ある	とても不安 である	無回答	
全体	人数	1,893	49	308	955	446	135	
	構成比		2.6%	16.3%	50.4%	23.6%	7.1%	
身体(計)	人数	850	19	137	434	199	61	
	構成比		2.2%	16.1%	51.1%	23.4%	7.2%	
身 体	視覚障害	人数	61	1	8	30	18	4
		構成比		1.6%	13.1%	49.2%	29.5%	6.6%
	聴覚障害	人数	67	1	10	34	16	6
		構成比		1.5%	14.9%	50.7%	23.9%	9.0%
	平衡機能障害	人数	13	0	3	7	2	1
		構成比		0.0%	23.1%	53.8%	15.4%	7.7%
	音声・言語・そしゃ く機能の障害	人数	22	1	4	11	5	1
		構成比		4.5%	18.2%	50.0%	22.7%	4.5%
	肢体不自由	人数	374	8	53	182	106	25
		構成比		2.1%	14.2%	48.7%	28.3%	6.7%
	内部障害	人数	269	7	47	153	43	19
		構成比		2.6%	17.5%	56.9%	16.0%	7.1%
知的	人数	236	16	50	83	55	32	
	構成比		6.8%	21.2%	35.2%	23.3%	13.6%	
精神	人数	183	9	28	82	46	18	
	構成比		4.9%	15.3%	44.8%	25.1%	9.8%	
難病	人数	369	5	60	212	80	12	
	構成比		1.4%	16.3%	57.5%	21.7%	3.3%	
障害児	人数	255	0	33	144	66	12	
	構成比		0.0%	12.9%	56.5%	25.9%	4.7%	

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字



## 6 社会参加等

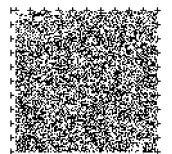
### 1 近所とのつき合い状況

全体では「あいさつ程度はしている」が最も多く、次いで「ほとんど行っていない」となっています。

前回調査との比較では、1、2位の項目は同じですが、「ほとんど行っていない」の割合が約6ポイント増加しています。

		回答者数	よく行っている	必要に応じて行っている	あいさつ程度はしている	ほとんど行っていない	無回答	
全体	人数	1,638	58	196	<b>936</b>	<b>393</b>	55	
	構成比		3.5%	12.0%	<b>57.1%</b>	<b>24.0%</b>	3.4%	
身体(計)		850	34	115	<b>485</b>	<b>185</b>	31	
			4.0%	13.5%	<b>57.1%</b>	<b>21.8%</b>	3.6%	
身 体	視覚障害	人数	61	2	10	<b>30</b>	<b>17</b>	2
		構成比		3.3%	16.4%	<b>49.2%</b>	<b>27.9%</b>	3.3%
	聴覚障害	人数	67	1	6	<b>35</b>	<b>22</b>	3
		構成比		1.5%	9.0%	<b>52.2%</b>	<b>32.8%</b>	4.5%
	平衡機能障害	人数	13	1	1	<b>8</b>	<b>3</b>	0
		構成比		7.7%	7.7%	<b>61.5%</b>	<b>23.1%</b>	0.0%
	音声・言語・そしゃく機能の障害	人数	22	1	3	<b>11</b>	<b>7</b>	0
		構成比		4.5%	13.6%	<b>50.0%</b>	<b>31.8%</b>	0.0%
	肢体不自由	人数	374	15	54	<b>210</b>	<b>81</b>	14
		構成比		4.0%	14.4%	<b>56.1%</b>	<b>21.7%</b>	3.7%
	内部障害	人数	269	7	27	<b>173</b>	<b>58</b>	4
		構成比		2.6%	10.0%	<b>64.3%</b>	<b>21.6%</b>	1.5%
	知的		236	6	11	<b>145</b>	<b>65</b>	9
				2.5%	4.7%	<b>61.4%</b>	<b>27.5%</b>	3.8%
精神		183	5	8	<b>105</b>	<b>54</b>	11	
			2.7%	4.4%	<b>57.4%</b>	<b>29.5%</b>	6.0%	
難病		369	13	62	<b>201</b>	<b>89</b>	4	
			3.5%	16.8%	<b>54.5%</b>	<b>24.1%</b>	1.1%	
参考 前回(全体)		1,595	75	282	<b>904</b>	<b>289</b>	45	
			4.7%	17.7%	<b>56.7%</b>	<b>18.1%</b>	2.8%	

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字



## 2 地域における障害や疾病に対する理解状況

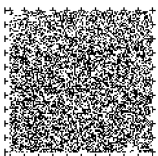
全体では、「あまり理解を得られていない」が最も多く、次いで「おおむね理解を得られている」となっています。

障害区分別でみると、「得られていない」（「あまり理解を得られていない」と「理解を得られていない」の合計）は、精神障害のかたが60.7%、内部障害のかたが60.2%と高く、一方、知的障害のかたは40.2%と最も低くなっています。

前回調査との比較では、「得られている」（「よく理解を得られている」と「おおむね理解を得られている」の合計）は、前回は44.2%であったのに対して、今回は37.4%となっています。一方、「得られていない」は、前回は48.0%であったのに対して、今回は53.0%と5ポイント増加しています。

		回答者数	よく理解を得られている	おおむね理解を得られている	あまり理解を得られていない	理解を得られていない	無回答	
全体	人数	1,638	94	520	557	312	155	
	構成比		5.7%	31.7%	34.0%	19.0%	9.5%	
身体(計)	人数	850	37	287	316	131	79	
	構成比		4.4%	33.8%	37.2%	15.4%	9.3%	
身 体	視覚障害	人数	61	4	19	24	11	3
		構成比		6.6%	31.1%	39.3%	18.0%	4.9%
	聴覚障害	人数	67	4	19	25	10	9
		構成比		6.0%	28.4%	37.3%	14.9%	13.4%
	平衡機能障害	人数	13	3	4	6	0	0
		構成比		23.1%	30.8%	46.2%	0.0%	0.0%
	音声・言語・そしゃく機能の障害	人数	22	3	8	7	4	0
構成比			13.6%	36.4%	31.8%	18.2%	0.0%	
肢体不自由	人数	374	17	135	139	46	37	
	構成比		4.5%	36.1%	37.2%	12.3%	9.9%	
内部障害	人数	269	7	81	113	49	19	
	構成比		2.6%	30.1%	42.0%	18.2%	7.1%	
知的	人数	236	35	86	56	39	20	
	構成比		14.8%	36.4%	23.7%	16.5%	8.5%	
精神	人数	183	14	42	62	49	16	
	構成比		7.7%	23.0%	33.9%	26.8%	8.7%	
難病	人数	369	8	105	123	93	40	
	構成比		2.2%	28.5%	33.3%	25.2%	10.8%	
参考 前回(全体)	人数	1,595	95	610	524	241	125	
	構成比		6.0%	38.2%	32.9%	15.1%	7.8%	

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字





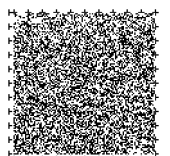
### 3 現在楽しんでいる余暇活動（複数回答）

全体では、「テレビや音楽の鑑賞」が最も多く、次いで「家族や友人などとの外出（食事、買い物など）」となっています。

障害区分別でみると、「インターネット」が多いのは、内部障害のかた 40.1%、平衡機能障害のかた 38.5%、「各種の趣味活動」が多いのは、知的障害のかた 44.5%となっています。

		回答者数	インターネット	スポーツ観戦	スポーツ活動(自分で行う)	各種のゲーム	絵画の創作、楽器演奏など芸術活動	テレビや音楽の鑑賞	各種の趣味活動	家族や友人などとの外出(食事、買い物など)	その他	特にない	無回答	
全体	人数	1,638	517	174	114	174	89	<b>983</b>	340	<b>572</b>	112	100	146	
	構成比		31.6%	10.6%	7.0%	10.6%	5.4%	<b>60.0%</b>	20.8%	<b>34.9%</b>	6.8%	6.1%	8.9%	
身体(計)		850	281	111	70	71	40	<b>489</b>	130	<b>342</b>	41	53	92	
			33.1%	13.1%	8.2%	8.4%	4.7%	<b>57.5%</b>	15.3%	<b>40.2%</b>	4.8%	6.2%	10.8%	
身 体	視覚障害	人数	61	18	9	13	5	1	<b>31</b>	12	<b>27</b>	4	3	4
		構成比		29.5%	14.8%	21.3%	8.2%	1.6%	<b>50.8%</b>	19.7%	<b>44.3%</b>	6.6%	4.9%	6.6%
	聴覚障害	人数	67	21	11	7	7	4	<b>34</b>	8	<b>24</b>	7	4	9
		構成比		31.3%	16.4%	10.4%	10.4%	6.0%	<b>50.7%</b>	11.9%	<b>35.8%</b>	10.4%	6.0%	13.4%
	平衡機能障害	人数	13	<b>5</b>	0	1	0	0	<b>10</b>	1	<b>5</b>	1	0	1
		構成比		<b>38.5%</b>	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	<b>76.9%</b>	7.7%	<b>38.5%</b>	7.7%	0.0%	7.7%
	音声・言語・そしゃく機能の障害	人数	22	6	5	2	2	1	<b>14</b>	4	<b>7</b>	2	1	3
		構成比		27.3%	22.7%	9.1%	9.1%	4.5%	<b>63.6%</b>	18.2%	<b>31.8%</b>	9.1%	4.5%	13.6%
	肢体不自由	人数	374	111	41	22	27	23	<b>230</b>	51	<b>153</b>	14	23	35
		構成比		29.7%	11.0%	5.9%	7.2%	6.1%	<b>61.5%</b>	13.6%	<b>40.9%</b>	3.7%	6.1%	9.4%
内部障害	人数	269	108	42	20	19	9	<b>152</b>	48	<b>117</b>	11	15	31	
	構成比		40.1%	15.6%	7.4%	7.1%	3.3%	<b>56.5%</b>	17.8%	<b>43.5%</b>	4.1%	5.6%	11.5%	
知的	人数	236	37	16	11	43	20	<b>160</b>	<b>105</b>	34	16	12	22	
	構成比		15.7%	6.8%	4.7%	18.2%	8.5%	<b>67.8%</b>	<b>44.5%</b>	14.4%	6.8%	5.1%	9.3%	
精神	人数	183	<b>63</b>	14	10	28	12	<b>104</b>	31	36	19	15	22	
	構成比		<b>34.4%</b>	7.7%	5.5%	15.3%	6.6%	<b>56.8%</b>	16.9%	19.7%	10.4%	8.2%	12.0%	
難病	人数	369	136	33	23	32	17	<b>230</b>	74	<b>160</b>	36	20	10	
	構成比		36.9%	8.9%	6.2%	8.7%	4.6%	<b>62.3%</b>	20.1%	<b>43.4%</b>	9.8%	5.4%	2.7%	
参考 前回(全体)	人数	1,595	516	148	168	149	100	<b>1,013</b>	363	<b>618</b>	106	100	38	
	構成比		32.4%	9.3%	10.5%	9.3%	6.3%	<b>63.5%</b>	22.8%	<b>38.7%</b>	6.6%	6.3%	2.4%	

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字



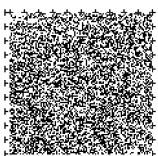
#### 4 運動・スポーツへの関心

全体では、「運動やスポーツに興味があるが、行っていない」が最も多く、次いで「運動やスポーツに興味があり、すでに行っている」となっています。

障害区分別でみると、平衡機能障害のかたと知的障害のかたは「運動やスポーツに興味がないため行っていない」がそれぞれ38.5%、31.8%と最も多くなっています。

		回答者数	運動やスポーツに興味があり、すでに行っている	運動やスポーツに興味があるが、行っていない	運動やスポーツに興味がないため行っていない	無回答	
全体	人数	1,638	454	695	371	118	
	構成比		27.7%	42.4%	22.6%	7.2%	
身体(計)	人数	850	238	372	175	65	
	構成比		28.0%	43.8%	20.6%	7.6%	
身 体	視覚障害	人数	61	26	21	11	3
		構成比		42.6%	34.4%	18.0%	4.9%
	聴覚障害	人数	67	20	27	13	7
		構成比		29.9%	40.3%	19.4%	10.4%
	平衡機能障害	人数	13	2	2	5	4
		構成比		15.4%	15.4%	38.5%	30.8%
	音声・言語・そしゃく機能の障害	人数	22	7	9	5	1
		構成比		31.8%	40.9%	22.7%	4.5%
	肢体不自由	人数	374	89	170	87	28
		構成比		23.8%	45.5%	23.3%	7.5%
	内部障害	人数	269	85	122	52	10
		構成比		31.6%	45.4%	19.3%	3.7%
	知的	人数	236	69	72	75	20
		構成比		29.2%	30.5%	31.8%	8.5%
精神	人数	183	51	66	51	15	
	構成比		27.9%	36.1%	27.9%	8.2%	
難病	人数	369	96	185	70	18	
	構成比		26.0%	50.1%	19.0%	4.9%	
参考 前回(全体)	人数	1,595	442	710	353	90	
	構成比		27.7%	44.5%	22.1%	5.6%	

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字



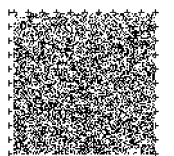
5 運動・スポーツをする際に困ること、行いにくいと感じること（複数回答）

全体では、「行いにくいと感じていない」を除くと、「体調や体力に不安がある」が最も多く、次いで「費用が高い」となっています。

障害区分別でみると、知的障害のかた、精神障害のかた、聴覚障害のかた、平衡機能障害のかたは、「一緒に運動やスポーツができる友人がいない」が15%を超えています。

		回答者数	スポーツ施設への移動を介助する人がいない	スポーツ施設の受け入れ体制が不十分である	スポーツ施設がバリアフリーでない	スポーツや運動を介助する人がいない	教えてくれる人がいない	一緒に運動やスポーツができる友人がいない	運動やスポーツができる場所を知らない	費用が高い	障害が重度である	体調や体力に不安がある	運動やスポーツに興味がない	その他	行いにくいと感じていない	無回答	
全体	人数	1,638	54	65	40	70	108	207	114	212	138	515	166	92	289	315	
	構成比		3.3%	4.0%	2.4%	4.3%	6.6%	12.6%	7.0%	12.9%	8.4%	31.4%	10.1%	5.6%	17.6%	19.2%	
身体(計)		850	32	39	31	34	54	85	64	76	107	246	76	43	157	164	
			3.8%	4.6%	3.6%	4.0%	6.4%	10.0%	7.5%	8.9%	12.6%	28.9%	8.9%	5.1%	18.5%	19.3%	
身 体	視覚障害	人数	61	4	7	6	6	7	6	2	5	12	6	1	13	11	
		構成比		6.6%	11.5%	9.8%	9.8%	11.5%	9.8%	3.3%	8.2%	8.2%	19.7%	9.8%	1.6%	21.3%	18.0%
	聴覚障害	人数	67	2	2	3	1	7	11	5	4	2	11	8	4	14	15
		構成比		3.0%	3.0%	4.5%	1.5%	10.4%	16.4%	7.5%	6.0%	3.0%	16.4%	11.9%	6.0%	20.9%	22.4%
	平衡機能障害	人数	13	0	0	0	0	0	2	2	0	4	6	2	0	3	2
		構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	15.4%	0.0%	30.8%	46.2%	15.4%	0.0%	23.1%	15.4%
	音声・言語・そしゃく機能の障害	人数	22	0	0	0	0	1	2	0	3	3	5	3	1	6	5
		構成比		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	9.1%	0.0%	13.6%	13.6%	22.7%	13.6%	4.5%	27.3%	22.7%
	肢体不自由	人数	374	19	22	16	22	24	36	34	31	70	101	39	19	59	74
		構成比		5.1%	5.9%	4.3%	5.9%	6.4%	9.6%	9.1%	8.3%	18.7%	27.0%	10.4%	5.1%	15.8%	19.8%
内部障害	人数	269	5	6	5	4	9	24	21	28	21	101	18	14	61	45	
	構成比		1.9%	2.2%	1.9%	1.5%	3.3%	8.9%	7.8%	10.4%	7.8%	37.5%	6.7%	5.2%	22.7%	16.7%	
知的		236	14	11	2	23	26	43	14	29	12	36	38	17	36	60	
			5.9%	4.7%	0.8%	9.7%	11.0%	18.2%	5.9%	12.3%	5.1%	15.3%	16.1%	7.2%	15.3%	25.4%	
精神		183	2	7	0	5	17	31	12	31	7	63	22	13	29	37	
			1.1%	3.8%	0.0%	2.7%	9.3%	16.9%	6.6%	16.9%	3.8%	34.4%	12.0%	7.1%	15.8%	20.2%	
難病		369	6	8	7	8	11	48	24	76	12	170	30	19	67	54	
			1.6%	2.2%	1.9%	2.2%	3.0%	13.0%	6.5%	20.6%	3.3%	46.1%	8.1%	5.1%	18.2%	14.6%	
参考 前回(全体)		1,595	44	59	33	84	123	230	134	215	134	537	152	95	247	269	
			2.8%	3.7%	2.1%	5.3%	7.7%	14.4%	8.4%	13.5%	8.4%	33.7%	9.5%	6.0%	15.5%	16.9%	

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字



## 7 障害者の権利

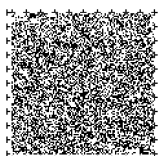
### 1 障害者の権利を守るために特に充実させるべき内容（複数回答）

全体では「あらゆる障害に対する差別がなくなること」が最も多く、次いで「自分のことは自分で決められること」となっています。

障害区分別でみると、視覚障害のかた、平衡機能障害のかた、音声・言語・そしゃく機能の障害のかた、難病のかたは「誰にでも平等に機会があること」、知的障害のかた、精神障害のかたは「障害者自身の能力が認められること」が2番目に多くなっています。

		回答者数	自分のことは自分で決められること	あらゆる障害に対する差別がなくなること	多様な活動に参加し、社会に受け入れられること	障害の違いを互いに認め合えること	誰にでも平等に機会があること	希望する施設やサービスの利用が可能であること	障害者の性別にかかわらず、平等であること	障害者自身の能力が認められること	その他	無回答	
全体	人数	1,638	<b>504</b>	<b>687</b>	336	361	479	397	188	450	51	194	
	構成比		<b>30.8%</b>	<b>41.9%</b>	20.5%	22.0%	29.2%	24.2%	11.5%	27.5%	3.1%	11.8%	
身体(計)	人数	850	<b>269</b>	<b>334</b>	161	180	268	188	103	215	21	115	
	構成比		<b>31.6%</b>	<b>39.3%</b>	18.9%	21.2%	31.5%	22.1%	12.1%	25.3%	2.5%	13.5%	
身体	視覚障害	人数	61	21	<b>26</b>	12	13	<b>23</b>	13	8	20	2	7
		構成比		34.4%	<b>42.6%</b>	19.7%	21.3%	<b>37.7%</b>	21.3%	13.1%	<b>32.8%</b>	3.3%	11.5%
	聴覚障害	人数	67	<b>24</b>	<b>26</b>	13	16	21	15	10	23	3	7
		構成比		<b>35.8%</b>	<b>38.8%</b>	19.4%	23.9%	31.3%	22.4%	14.9%	34.3%	4.5%	10.4%
	平衡機能障害	人数	13	4	<b>10</b>	1	2	<b>6</b>	5	1	3	1	0
		構成比		30.8%	<b>76.9%</b>	7.7%	15.4%	<b>46.2%</b>	38.5%	7.7%	23.1%	7.7%	0.0%
	音声・言語・そしゃく機能の障害	人数	22	9	<b>11</b>	5	3	<b>10</b>	8	0	4	1	2
		構成比		40.9%	<b>50.0%</b>	22.7%	13.6%	<b>45.5%</b>	36.4%	0.0%	18.2%	4.5%	9.1%
	肢体不自由	人数	374	<b>121</b>	<b>161</b>	78	83	117	94	38	81	6	47
		構成比		<b>32.4%</b>	<b>43.0%</b>	20.9%	22.2%	31.3%	25.1%	10.2%	21.7%	1.6%	12.6%
	内部障害	人数	269	<b>87</b>	<b>95</b>	43	54	83	52	39	72	7	35
		構成比		<b>32.3%</b>	<b>35.3%</b>	16.0%	20.1%	30.9%	19.3%	14.5%	26.8%	2.6%	13.0%
	知的	人数	236	66	<b>110</b>	57	56	42	69	21	<b>70</b>	9	27
		構成比		28.0%	<b>46.6%</b>	24.2%	23.7%	17.8%	29.2%	8.9%	<b>29.7%</b>	3.8%	11.4%
精神	人数	183	61	<b>87</b>	40	42	55	27	26	<b>63</b>	7	15	
	構成比		33.3%	<b>47.5%</b>	21.9%	23.0%	30.1%	14.8%	14.2%	<b>34.4%</b>	3.8%	8.2%	
難病	人数	369	108	<b>156</b>	78	83	<b>114</b>	113	38	102	14	37	
	構成比		29.3%	<b>42.3%</b>	21.1%	22.5%	<b>30.9%</b>	30.6%	10.3%	27.6%	3.8%	10.0%	
参考 前回(全体)	人数	1,595	465	<b>683</b>	360	388	<b>492</b>	394	169	416	39	156	
	構成比		29.2%	<b>42.8%</b>	22.6%	24.3%	<b>30.8%</b>	24.7%	10.6%	26.1%	2.4%	9.8%	

1位: 全体が黒で白文字、2位: 全体が灰色で太文字



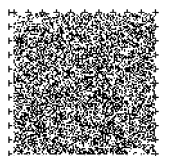
## 2 虐待経験の有無

全体では「ない」が多くなっています。

障害区分別でみると、「ある」との回答が多いのは精神障害のかたが 37.7%、聴覚障害のかたが 25.4%となっています。

		回答者数	ある	ない	無回答	
全体	人数	1,638	259	1,232	147	
	構成比		15.8%	75.2%	9.0%	
身体(計)	人数	850	109	668	73	
	構成比		12.8%	78.6%	8.6%	
身 体	視覚障害	人数	61	10	47	4
		構成比		16.4%	77.0%	6.6%
	聴覚障害	人数	67	17	44	6
		構成比		25.4%	65.7%	9.0%
	平衡機能障害	人数	13	1	10	2
		構成比		7.7%	76.9%	15.4%
	音声・言語・そしゃく機能の障害	人数	22	5	16	1
		構成比		22.7%	72.7%	4.5%
	肢体不自由	人数	374	50	289	35
		構成比		13.4%	77.3%	9.4%
	内部障害	人数	269	19	238	12
		構成比		7.1%	88.5%	4.5%
知的	人数	236	35	174	27	
	構成比		14.8%	73.7%	11.4%	
精神	人数	183	69	94	20	
	構成比		37.7%	51.4%	10.9%	
難病	人数	369	46	296	27	
	構成比		12.5%	80.2%	7.3%	
参考 前回(全体)	人数	1,595	264	1,214	117	
	構成比		16.6%	76.1%	7.3%	

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字



### 3 障害者への差別を感じた経験の有無

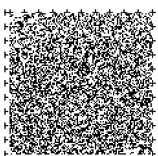
全体では「あまり感じない」が最も多く、次いで「時々感じる」となっています。

障害区分別で見ると、《感じる》（「よく感じる」と「時々感じる」の合計）が多いのは、視覚障害のかた 49.2%、聴覚障害のかた 44.8%、精神障害のかた 42.6%となっています。一方、低いのは内部障害のかた 23.4%、難病のかた 28.5%となっています。

前回調査との比較では、《感じる》は、前회가 31.8%であったのに対して、今回は 33.0%となっています。一方、《感じない》（「あまり感じない」と「全く感じない」の合計）は、前회가 59.6%であったのに対して、今回は 58.2%となっています。

		回答者数	よく感じる	時々感じる	あまり感じない	全く感じない	無回答	
全体	人数	1,638	131	<b>409</b>	<b>755</b>	198	145	
	構成比		8.0%	<b>25.0%</b>	<b>46.1%</b>	12.1%	8.9%	
身体(計)	人数	850	65	<b>214</b>	<b>402</b>	100	69	
	構成比		7.6%	<b>25.2%</b>	<b>47.3%</b>	11.8%	8.1%	
身 体	視覚障害	人数	61	10	<b>20</b>	<b>24</b>	5	2
		構成比		16.4%	<b>32.8%</b>	<b>39.3%</b>	8.2%	3.3%
	聴覚障害	人数	67	5	<b>25</b>	<b>23</b>	4	10
		構成比		7.5%	<b>37.3%</b>	<b>34.3%</b>	6.0%	14.9%
	平衡機能障害	人数	13	1	<b>3</b>	<b>5</b>	2	2
		構成比		7.7%	<b>23.1%</b>	<b>38.5%</b>	15.4%	15.4%
	音声・言語・そしゃく機能の障害	人数	22	2	<b>5</b>	<b>10</b>	3	2
		構成比		9.1%	<b>22.7%</b>	<b>45.5%</b>	13.6%	9.1%
	肢体不自由	人数	374	31	<b>105</b>	<b>172</b>	41	25
		構成比		8.3%	<b>28.1%</b>	<b>46.0%</b>	11.0%	6.7%
	内部障害	人数	269	13	<b>50</b>	<b>149</b>	42	15
		構成比		4.8%	<b>18.6%</b>	<b>55.4%</b>	15.6%	5.6%
	知的	人数	236	17	<b>61</b>	<b>106</b>	21	31
		構成比		7.2%	<b>25.8%</b>	<b>44.9%</b>	8.9%	13.1%
精神	人数	183	28	<b>50</b>	<b>70</b>	22	13	
	構成比		15.3%	<b>27.3%</b>	<b>38.3%</b>	12.0%	7.1%	
難病	人数	369	21	<b>84</b>	<b>177</b>	55	32	
	構成比		5.7%	<b>22.8%</b>	<b>48.0%</b>	14.9%	8.7%	
参考 前回(全体)	人数	1,595	120	<b>388</b>	<b>760</b>	192	135	
	構成比		7.5%	<b>24.3%</b>	<b>47.6%</b>	12.0%	8.5%	

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字



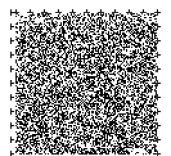
#### 4 差別を感じた時の相談の有無

全体では「ない」が多くなっています。

障害区分別でみると、「ある」への回答が最も多かったのは精神障害のかた 15.3%となっています。

		回答者数	ある	ない	無回答	
全体	人数	1,638	87	1,183	368	
	構成比		5.3%	72.2%	22.5%	
身体(計)	人数	850	31	617	202	
	構成比		3.6%	72.6%	23.8%	
身 体	視覚障害	人数	61	3	39	19
		構成比		4.9%	63.9%	31.1%
	聴覚障害	人数	67	2	46	19
		構成比		3.0%	68.7%	28.4%
	平衡機能障害	人数	13	1	8	4
		構成比		7.7%	61.5%	30.8%
	音声・言語・そしゃく機能の障害	人数	22	0	17	5
		構成比		0.0%	77.3%	22.7%
	肢体不自由	人数	374	16	276	82
		構成比		4.3%	73.8%	21.9%
	内部障害	人数	269	6	205	58
		構成比		2.2%	76.2%	21.6%
	知的	人数	236	17	167	52
		構成比		7.2%	70.8%	22.0%
精神	人数	183	28	126	29	
	構成比		15.3%	68.9%	15.8%	
難病	人数	369	11	273	85	
	構成比		3.0%	74.0%	23.0%	
参考 前回(全体)	人数	1,595	84	1,206	305	
	構成比		5.3%	75.6%	19.1%	

1位:全体が黒で白文字、2位:全体が灰色で太文字





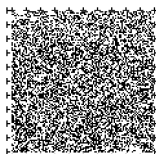
**8 豊島区の今後のありかたについて**（複数回答）

取り組みで重要だと思うことについては、全体では「給付金や手当の充実」が36.5%で最も多く、次いで「医療費の軽減等医療相談」が29.7%となっています。

障害区分別にみると、精神障害のかたでは「就労の支援や職業訓練」が38.3%、障害児は「障害者や難病患者への理解を深めるための啓発・広報活動」、「通所施設の整備」が各24.7%と最も多くなっています。

障害区分別		順位				
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全体 n=1,893		給付金や手当 36.5	医療費の軽減等 医療相談 29.7	障害者や難病患者への 理解を深めるための 啓発・広報活動 23.4	福祉タクシー券 21.6	道路や交通機関、 公共施設の整備 (バリアフリー化) 20.8
身体（計） n=850		給付金や手当 40.1	医療費の軽減等 医療相談 32.8	福祉タクシー券 29.3	道路や交通機関、 公共施設の整備 (バリアフリー化) 26.0	障害者や難病患者への 理解を深めるための 啓発・広報活動 19.8
身 体	視覚 n=61	給付金や手当 44.3	医療費の軽減等 医療相談 37.7	道路や交通機関、 公共施設の整備 (バリアフリー化) 37.7	福祉タクシー券 32.8	障害者や難病患者への 理解を深めるための 啓発・広報活動 31.1
	聴覚 n=67	給付金や手当 29.9	医療費の軽減等 医療相談 23.9	病気の人や障害者、 高齢者に配慮した安全・ 防災対策の推進 26.9	障害者や難病患者への 理解を深めるための 啓発・広報活動 20.9	手話言語の普及や障 害者の意思疎通の促 進に関する取り組み 19.4
	平衡機能 障害 n=13	給付金や手当 38.5	道路や交通機関、 公共施設の整備 (バリアフリー化) 38.5	福祉タクシー券 38.5	医療費の軽減等 医療相談 30.8	短期入所（ショート ステイ）/ 公的な住宅の整備 23.1
	音声・言語・ そしゃく機能 の障害 n=22	給付金や手当 45.5	医療費の軽減等 医療制度の充実 36.4	福祉タクシー券 27.3	障害者や難病患者への 理解を深めるための 啓発・広報活動 22.7	道路や交通機関、 公共施設の整備 (バリアフリー化) 他 22.7
	肢体不自由 n=374	給付金や手当 38.2	福祉タクシー券 34.2	道路や交通機関、 公共施設の整備 (バリアフリー化) 34.0	医療費の軽減等 医療相談 30.2	自転車や車の危険 運転防止等の安全 対策 22.2
	内部障害 n=269	給付金や手当 47.6	医療費の軽減等 医療相談 40.5	福祉タクシー券 27.9	障害者や難病患者への 理解を深めるための 啓発・広報活動 20.8	制度やサービスに ついての情報提供 20.8
知的 n=236		給付金や手当の充 実 30.9	障害を理解して もらうための 活動 28.0	病気の人や障害者、高齢者が、地 震や火事などの災害や事件、事故 のときに身を守るための取り組み 24.6	グループホームな どを作る 23.3	通院にかかるお金 を少なくするなど 医療制度 19.1
精 神 n=183		就労の支援や職業 訓練 38.3	障害者や難病患者への 理解を深めるための 啓発・広報活動 28.4	給付金や手当 27.3	土日・休日の支 援、早朝・夜間の 支援 24.0	障害者差別解消への 啓発 21.9
難 病 n=369		医療費の軽減等 医療制度 49.1	給付金や手当 47.4	福祉タクシー券 37.9	自転車や車の危険 運転防止等の安全 対策 28.5	障害者や難病患者への 理解を深めるための 啓発・広報活動 25.5
障害児 n=255		障害者や難病患者への 理解を深めるための 啓発・広報活動 24.7	通所施設の整備 24.7	就労の支援や職業 訓練 24.3	土日・休日の支 援、早朝・夜間の 支援 22.0	高次脳機能障害・ 発達障害などの相 談事業 21.2
参 考 前 回（全体） n=1,595		給付金や手当の充 実 42.8	医療費の軽減等 医療制度の充実 35.4	道路や交通機関、 公共施設の整備 (バリアフリー化) 28.3	障害者への理解を 深めるための啓 発・広報活動 25.0	制度やサービスに ついての情報提供 23.6

※全体で第1位になっている「給付金や手当」を網かけで示しました。また、選択肢の表現は障害区分により異なる場合があります。





### Ⅲ 身体障害者調査

